（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもホリデー（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和８年２月３日	～	令和８年２月28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	6
○従業者評価実施期間	令和８年２月３日	～	令和８年２月28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年４月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「幼児は太陽を浴びて外で元気に遊ぶ」ことを重視している。	公園の遊具を使わせていただき十分な屋外活動の機会を提供している。また、そこで地域の子供たちともふれあえるようにと考えている。	夏は暑いので木陰のある公園を利用したり、水遊びを実施していく。
2	散歩で幼児期から交通ルールを体験する。	散歩の際、職員と子どもは一対一で対応している。	危険回避を小さい時から身につけるために、今後も散歩を実施する。ルールについては絵本も活用する。
3	年２回の個別懇談、通園している保育園・幼稚園との見学・連携を行っている。	専門誌の活用、定期的な職員の研修。また保護者の相談に丁寧に対応している。	日頃から連絡帳やLINEを通して保護者とやり取りを重ねているが、必要な時には訪問し、一緒に支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋が２階にあり、手狭であること。	階段をのぼることの危険や大変さはあるが、体力づくりにもなっている。	大人の障害者の働く場と一緒の建物なので、通る時に挨拶をしたりお互いに声をかけあって良い関係にあるので、今後も継続する。
2	毎月「こどもホリデー通信」を発行して保護者向けに情報発信をしているが、共通理解へは至らない点もある。	個別懇談は必ず出席してもらえるが、保護者会の出席が少ない。	魅力ある保護者会にする方法を考える。
3	地域の他の子どもと活動する場を提供したいが、現状叶っていない。	近隣センターなどにも参加したいが、親子でなければ利用できないとのことだった。	地域の他のこどもと活動できる場を探していきたい。